

温故知新

(古代国家のあゆみ)

浄土教と仏教文化

()

- ・死後におちる地獄の恐ろしさを説く。
- ・() にすがって救いを求める。
- ・死後、() に生まれることができる。

↓
↓

() の像が多く作られる。

- ・やわらかみのある彫刻
- ・() 文化の1つ

[堂]

- ・宇治の []

() が建てた)

[] は、この世に () をあらわしたものの。

◎ 院政と平氏

1086年 () 天皇) は、天皇の位を8歳の子にゆずって、() となり、() とよばれる御所に住んだ。

↓
↓

その後も、() で、政治を行った

[]

() 上皇) は、藤原氏を押さえて、思いのままの政治を行った。

院政を行う上皇は、() を用いて、() の警備にあたらせた。
()

武力が重要な世の中

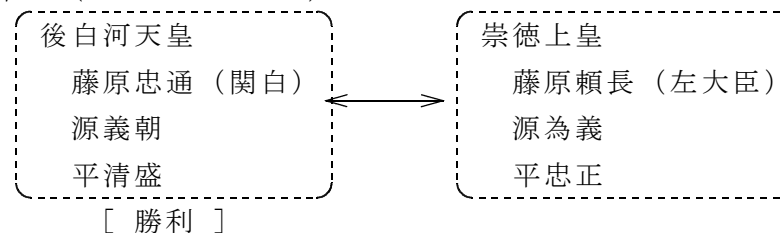
大きな寺社は、下級の僧に武装させ、自分たちの意見を
通そうとした。[]

上皇が力を持つ ←← (不満) ←← 天皇

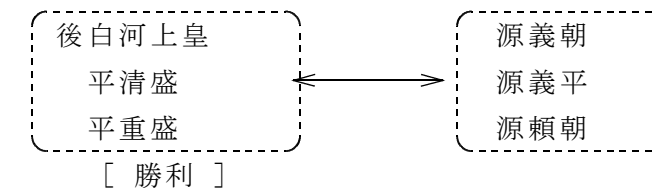
↑

藤原氏一族の争い

1156年 ()



1159年 ()



後白河上皇は、() を重んじ、武士として初めて () の地位についた。() 一門が、高位高官についた。
また、清盛は、中国の () との貿易で大きな利益をあげた。